



袁長だよ！

NO.28 R7.11.17(Mon)

先日(11月12日)
アップさせて頂き
ましたが。

先週、グッと気温が低目になったある朝の自由
遊びでの事です。

先生と砂場で、お山を作っていると「裸足になろ〜よ〜っ」との
子ども達のかわいいひと言！正直……ちょ〜と冷たい気候では
ありましたが、そこはひと踏ん張り!! みんなで張り切って靴を脱ぐことに!
一人が(靴を)脱ぐと、次々に「ボクも!」「私も!」と続き、みんなが裸足に
なりました!「わぁ〜冷たぁ〜いけど気持ちいい〜っ」と、これ又
かわいいコメントもとび出し、お山をつくら、トンネル掘りが始まり
ました。すると途中で「あ〜〜」と、
トンネル(お山が)崩れてしまいました!
そこで諦めるかと思いきや、一人の
男の子が「大丈夫!ボクに任せて!!」
そのひと言に鼓舞・引導され、
再び皆で掘り始めました。
物事に対して、じっくり取り組む集中
力、そんな姿勢も遊びの中から培われる
んですね。

そんな子ども達の姿を見つめつつ担任が……



当初はトンネルを掘るのに最初から大きな穴を空けていて、すでに
お山が崩れてしまっていたんですけど、この頃は(最初から)穴掘りに
適した小さ目のスコップを使って、しかもチ先をスクリーさせて、小さな
穴で効率よく穴を空けられるようになったんですよ!成長して
いるんですね〜!と、話してくれました。

何気ない朝の場面ではありましたが、遊びの中でのふとした
子ども達の発言・仕草に、遊びに対する前向きな意欲も規範性、
工夫・創造性・協働性など、ありとあらゆる力が育っている事を
実感します。

そして、最後は、「キ+ハハーみんな泥だらけ〜っ」と満面の
笑顔で、足を洗って、タオルで拭いて、これも全て、自分達で
手際よく出来ていて、これも当たり前ではないな〜と思うんです。
“出来ること”が増えると、当たり前になりがち!! ひとつひとつ褒めて
あげなくちゃ!「偉いね〜!」「出来るんだね」「すご〜い!」と、
一人ひとりを褒めつつ、遊びまった大満足の子どもの輝く笑顔
を嬉しく見守りました。

